

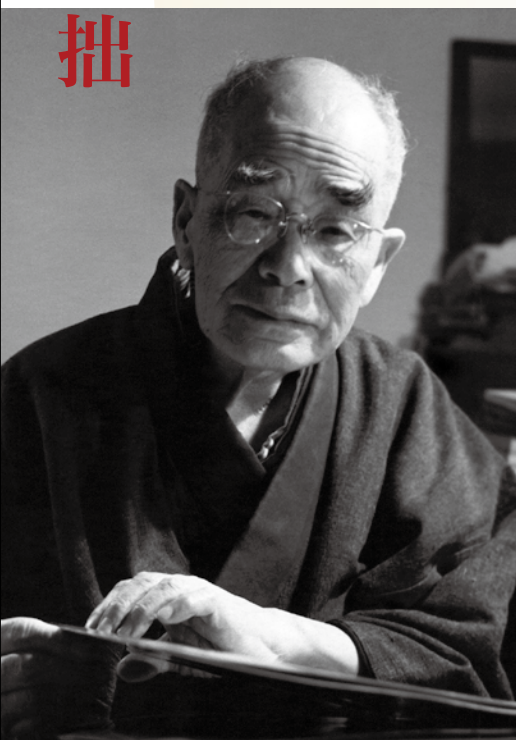
2018年度秋季企画展

# 大谷大学と

The Religious Studies in Otani University

# 宗教研究

鈴木大拙  
Daisetz Suzuki



写真提供：鈴木大拙館

西田幾多郎  
Kitaro Nishida



写真提供：石川県西田幾多郎記念哲学館

清沢満之  
Manshi Kiyozawa



写真提供：真宗総合研究所大谷大学史資料室

2018 9/4<sup>(火)</sup> — 9/22<sup>(土)</sup>

休館日 日曜日・月曜日  
ただし9/9<sup>(日)</sup>は午前10時～午後5時開館  
9/17<sup>(日)</sup><sup>(祝)</sup>は午前10時～午後3時開館  
開館時間 午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)  
観覧料 無料

併催 実習生展

- 京を詠む
- 近世京都の本屋さん
- 京都異界めぐり

大谷大学博物館  
Otani University Museum

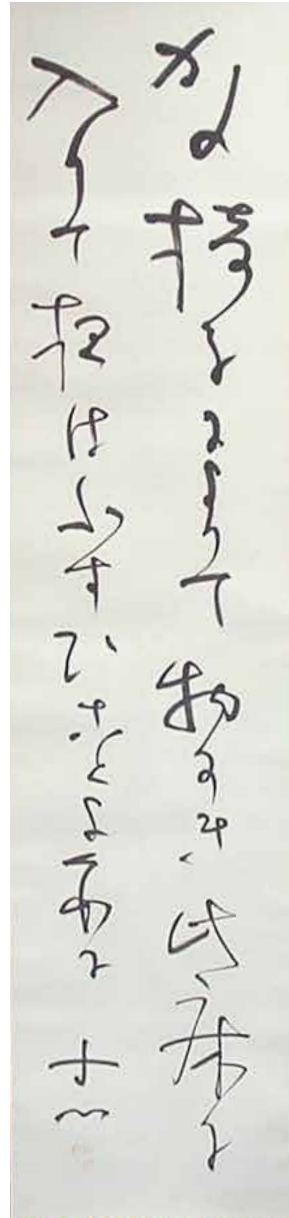
# 大谷大学と宗教研究

The Religious Studies in Otani University

## —清沢満之・西田幾多郎・鈴木大拙—



①



②



③

本学の初代学長清沢満之は、東京大学で宗教哲学を学び、のちに精神主義運動を提唱しました。その哲学的思索は、独創的な哲学を提示した西田幾多郎の思想に影響を与えたと言われます。また西田と親友であった宗教哲学者・鈴木大拙は、鎌倉仏教の核心に「日本的霊性」の自覚を見出すとともに、仏教思想を広く欧米に紹介しました。

西田は1911年に真宗大学が東京から京都に移転したおりに講師として就任。鈴木は西田との縁で1921年に本学教授に就任し、東方仏教徒協会を設立して雑誌『イースタン・ブッディスト』を創刊するなど、いずれも本学に縁の深い方々です。

本展覧会では、大谷大学と縁の深いこれら三人を取り上げ、その人となりや研究の一端をご紹介します。

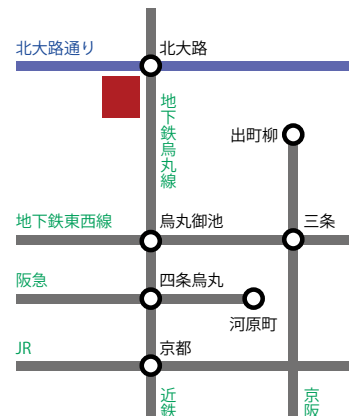
また、本学の博物館学芸員課程の学生が、企画から展示までを行った「実習生展」を開催しています。あわせてご覧いただければ幸いです。

### 次回展覧会〈予定〉

特別展 飛騨真宗の伝流—照蓮寺高山移転430年—

2018年10月12日(金)～11月28日(水)

- ① 清沢満之筆「我は此の如く如来を信ず(我信念)」
- ② 西田幾多郎筆「かの椅子によりて物かき 此床に入りて又ふす日毎よことに」  
石川県西田幾多郎記念哲学館蔵
- ③ 鈴木大拙筆「妙」 鈴木大拙館蔵



## 大谷大学博物館

Otani University Museum

〒603-8143 京都市北区小山上総町 響流館1F

Tel. 075-411-8483 Fax. 075-411-8146

[http://www.otani.ac.jp/kyo\\_kikan/museum/](http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/)

京都・大学ミュージアム連携  
University Museum Association of Kyoto

- 地下鉄烏丸線「北大路」下車、6番出口すぐ
- 市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路」下車
- 駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。ただし、身障者用の車の場合は事前にご連絡ください。